授賞おめでとうございます。

協会からの推薦により令和８年鉄道関係功労者大臣表彰を受賞された方をご紹介します。

■鉄道事業振興関係（多年にわたり鉄道関連事業の振興に努め斯界の発展に寄与）



小山内　政廣 氏（79 歳）

株式会社日本線路技術 顧問

小山内氏は、国鉄、東日本旅客鉄道（株）、（株）日本線路技術において 50 年以上にわたり線路メンテナンス技術者として従事し、技術の進歩や社会・環境の変化に対応した新たな手法の考案や技術開発を通じて、メンテナンス業務の近代化を牽引した。特に、軌道検測車の開発・導入や保線業務のシステム化を推進し、安全性・効率性・精度の向上に大きく貢献した。また、「解説 鉄道に関する技術基準（土木編）」や「軌道の維持管理マニュアル」などの編纂を通じて技術の体系化を図るとともに、国内外の鉄道事業者への技術指導や講習会の講師を務めるなど、人材育成・技術継承にも多大な功績を残している。

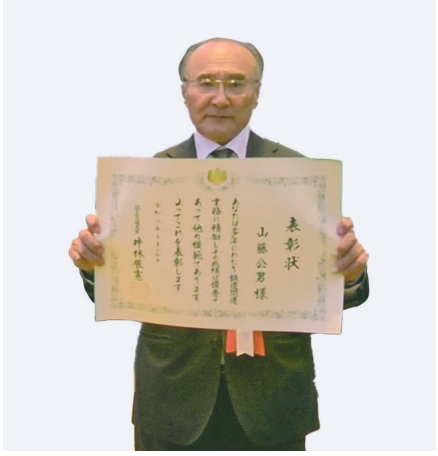
■鉄道事業精励関係（多年にわたり鉄道関連業務に精励）



塩川　秀昭 氏（58 歳）

日本機械保線株式会社 技術学園学長

塩川氏は、約 35 年にわたり東海道新幹線の軌道整備に従事し、主にマルタイの高度な施工・保守技術の確立と発展に大きく貢献した。また速度向上や乗り心地改善に寄与するとともに、後進育成、新型機械導入時の技術指導、保守用車管理及び職場運営にも尽力し、鉄道の安全・安定輸送を支え続けた功績は顕著である。



山藤　公男 氏（68 歳）

広成建設株式会社 山口支店徳山保線作業所主任

山藤氏は、約 50 年にわたり鉄道建設・線路保守業務に従事し、新幹線保守基地整備や線路改良工事、西日本豪雨災害復旧工事など数々の重要事業を指揮し、関係者との調整力と責任感を発揮して無事故完遂を実現した。豊富な経験と高い技術力を活かして安全・安定輸送の確保に尽力し、鉄道事業および地域社会の発展に大きく貢献した。